

## 6. グリーンミニ

マムと

	グリーンミニマム	緑 被 率
根 拠	宮城県環境管理計画（案） （５５．７）	大規模開発行為に関する指導要綱 （５１．８．３１）
意 義	住宅団地等において確保されるべき「みどり」の量と質の保全水準である。	開発区域総面積に対する緑地等の合計面積の割合
基 準 等	住宅団地等の周辺の自然条件，都市機能の集積の状況等により個別に算出	<p>（住宅）</p> <p> <math>100\text{ ha}</math>未満 <math>15\%</math>以上  <math>100\text{ ha}</math> <math>Y = 15 + \frac{1}{40}(X - 100)</math> 以上  <math>700\text{ ha}</math> </p> <p> <math>\left( \begin{array}{l} Y: \text{緑被率 } \% \\ X: \text{規 模 } \text{ ha} \end{array} \right)</math> </p> <p> <math>700\text{ ha}</math>以上 <math>30\%</math>以上 </p>
摘 要	今後新たに農地や山林，原野を住居，商業業務，工業，文教厚生用途に供する際に適用するほか，既存の都市の再開発に当たってもこれを適用していく。	住宅団地，工場団地における緑被率は，グリーンミニマムに変えていく必要がある。

土 地
設計の概要の (30.3.31)
土地区画整理 の割合
施行地区内に いて1人当た 地区の面積の